

トークイベント

場所：由比ガ浜公会堂 開場：14時
入場料：各回1000円 定員：各回50名

長嶋有 × 佐藤文香 「俳句場外乱闘!？」

出演：長嶋有 (小説家)・佐藤文香 (俳人)
日時：10月10日 (土) 14時半～16時

小説家、長嶋有さんの約20年間にわたる句作の集大成にしてデビュー句集である『春のお辞儀』。繊細に詠んだ恋愛の心情をポップな装幀でくるんだ、佐藤文香さんの『君に目があり見開かれ』。2014年、それぞれに大胆不敵な句集を出されたおふたりが、俳句のあれやこれやについて楽しく語り合います。

◎長嶋有

1972年生まれ。2002年「猛スピードで母は」で芥川賞、2007年「夕子ちゃんの近道」で大江健三郎賞受賞。『ジャージの二人』(集英社)、『フキンシンちゃん』(マッグガーデン)、『問いのない答え』(文藝春秋)など著書多数。2014年に第一句集『春のお辞儀』(ふらんす堂)を上梓。

◎佐藤文香

1985年生まれ。2006年、芝不器男俳句新人賞対馬康子奨励賞受賞。2009年、第一句集『海藻標本』により宗左近俳句大賞受賞。2014年、第二句集『君に目があり見開かれ』(港の人)を上梓。

本の美しさとはなにか

出演：郡淳一郎 (オルタナ編集者)・平出隆 (詩人)
日時：10月11日 (日) 14時半～16時

第1回から続く平出隆さんのトーク。今回の対談相手は、「オルタナ出版史」三部作(雑誌「アイデア」誠文堂新光社)の郡淳一郎さん。関東大震災以降の「ほんとうに美しい本」の歴史を、豊富な書影とともに大胆に編纂されました。「オルタナ出版史」とは出版正史に対する出版叛史。平出さんの刊行活動も、この「叛史」に位置づけられています。では、出版にとって「正」とは、「叛」とはなんなのでしょうか。そして「本の美しさ」とは？

◎郡淳一郎

1966年生まれ。雑誌『ユリイカ』(1997-98年、2002-06年)、矢川澄子『いづくへか』(筑摩書房)、高橋信行編『足穂拾遺物語』(青土社)、鈴木一誌ほか『知恵蔵裁判全記録』(太田出版)、間奈美子ほか『インディペンデント・プレスの展開』(空中線書局)などを編集。

◎平出隆

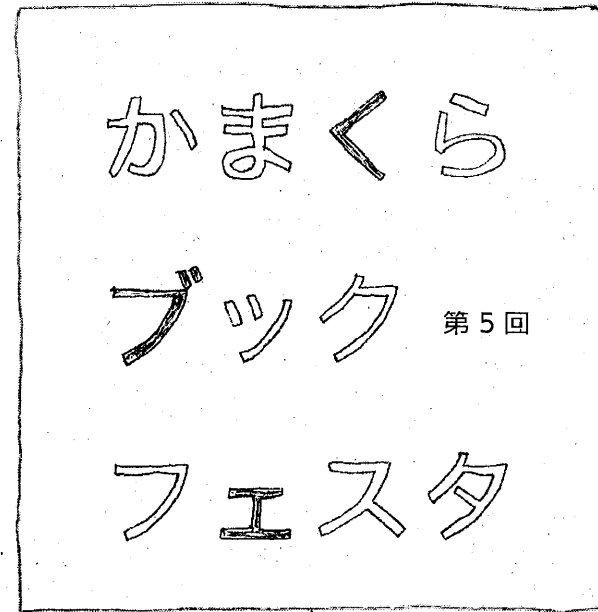
1950年福岡県生まれ。詩人、作家、多摩美術大学教授。詩や散文のほか、美術家との著作、詩書の装幀の仕事も多い。(via wwalnuts 叢書)〈crystal cage 叢書〉など、2010年より独自の出版プロジェクトも立ち上げている。

トークイベント参加ご希望のかたは、電話かファックス、メールにて港の人へご予約くださるか、たらば書房(鎌倉駅西口)にてチケットをお買い求めください。

かまくらブックフェスタに関するお問い合わせは……

港の人

〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜 3-11-49
tel 0467-60-1374 fax 0467-60-1375
mail kamakura@minatonohito.jp



2015年
10月10日(土曜)
10月11日(日曜)
10時から18時

こだわりの本を手がける出版社や出版者が展示販売をおこなう、本好きのための本のお祭り。

赤々舎

- via wwalnuts 社
- 牛若丸出版
- ECRIT (エクリ)
- 北と南とヒロイヨミ
- 群像社
- 左右社
- 夏葉社
- 羽鳥書店
- ブックスモプロ
- 編集工房ノア+ぽかん編集室
- りいぶる・とふん
- LIXIL 出版
- 港の人
- MODERATO ROASTING COFFEE

トークイベント会場
由比ガ浜公会堂
鎌倉市由比ガ浜 2-7-21



ブックフェスタ会場

garden & space くるくる

鎌倉市由比ガ浜 2-7-12

JR・江ノ電「鎌倉駅」西口から徒歩10分。
江ノ電「和田塚駅」から徒歩3分。
駐車場横の細い道に入り、踏切手前左手。
※どちらの会場も駐車場はありません。

※今回から会場が上記に変更となりました。ご注意ください。

かまくらブックフェスタ ホームページ <http://www.minatonohito.jp/kamakurabf/>

赤々舎

2006年に姫野希美が後先を顧みずに立ち上げてから10年目です。写真集と現代アートを中心に130冊余を刊行。いま生きている人と本を作りたい、という思いを抱きながら、中でも写真とアートは混沌とした生々しいエネルギーが魅力で、いつも圧倒されています。直感的で野生的である「赤」を身の内に巡らせ、社会といかに深く関わっているか…大きな問の器として一冊一冊の本があることを願っています。

via wwalnuts 社

平出隆による、書簡としての本《via wwalnuts 叢書》。切手も消印も宛名も、汚れもへたりも雨滴もデザインの一部。会場では、架空の郵便局としてご注文を受け、ほんものの郵便でお届けします。多摩美術大学芸術学科「書物設計」ゼミもサポーターとして参加し、ゼミ生が印刷を担当した都淳一郎『仮名手本オルタナ出版史』も特別出品。

牛若丸出版

グラフィックデザイナー松田行正が主宰する「オブジェとしての本」をつくり続けるミニ出版社。持ち上げて重さと手ざわりを確認し、カバー等のデザインを眺めて工夫を堪能し、本文を読み味わう、楽しい本が並んでいます。

ECRIT エクリ

詩画集を中心に出版するエクリは、ロシアの映画監督、アンドレイ・タルコフスキーの『ホフマニアーナ』を今秋9月に刊行します。ドイツの幻想作家ホフマンを題材に、タルコフスキーが構想を進めていたもので、撮影寸前で監督の死により実現しなかった「幻の8作目」です。2月に出版したロバール・クートラスのグアッシュ作品を集めた大判(B4)の画集もお手に取っていただきたいです。

北と南とヒロイヨミ

雑誌『北と南』とヒロイヨミ社があたらしく作った本をめぐる小冊子『ほんほん蒸気』とそれぞれの出版物を販売します。『北と南』は紀行文、詩、俳句、小説、エッセイ、インタビュー、写真など、世界の様々な場所からの声と光を封じ込めた雑誌です。ヒロイヨミ社はことばと静かに向きあうためのあたらしい〈本〉のかたちをもとめて、紙や印刷にこだわった冊子を制作・発行しているリトルプレスです。

群像社

日本ではあまり紹介されることがないロシアの小説を出版するために35年前にできた会社をひとり引き継いで今年で15年。最近は新旧の文学をとりまぜ、ロシア文化の魅力を伝えるエッセイなども出しています。見知らぬ国で生まれた様々なイメージの世界にふれていると、こちらの想像力も豊かになります。なじみのない国なら、ふくらみもそのぶん大きくなります。そんな思いで本をつくっています。

左右社

本を一人で読むとき、一人でないことを、本の中に発見する。人と人、人と生き物、人と物、人と世界を結ぶ、見えない線が降り注ぐような本をつくりたいと思っています。

夏葉社

はじめて参加いたします。「何度も読み返せる本」を目標にしている、吉祥寺の出版社です。社員はひとりだけです。自社でつくった、渋い文芸書と、小さな詩集と、本屋さんの本と、レコードの本をもっていきます。おすすめは、鎌倉在住の橋口幸子さんが田村隆一元夫人のことを書いた『いちべついらい』と、可憐な詩集『小さなユリと』です。

羽鳥書店

羽鳥書店は美術書・法律書・人文書を中心にずっと読み継がれるような本を作っている出版社です。内容だけでなく、紙・印刷・造本・装幀までこだわって、いつまでも手許に置いておきたいような本づくりをしています。ぜひ手にとって羽鳥書店の本の魅力を楽しんでください。

ブックスモブロ

鎌倉は大町にて古書店を営んでいるブックスモブロです。今年の9月で丸4年が経ちました。今回は同じ鎌倉での「ブックフェスタ」に参加させていただくことになり、いろいろな方と出会えることを楽しみにしています。お探しの古書はございませんが、きっと心に響く1冊に出会えるはず。2012年から開催している「ブックカーニバル in カマクラ」も、興味ございましたらお気軽にお声掛けください。

編集工房ノア+ぼかん編集室

「編集工房ノア」は大阪にある出版社です。富士正晴、天野忠、山田稔、杉山平一、足立巻一などの著作を出版しています。「ぼかん」は、編集発行人が読みたい文章を並べただけの気まぐれ冊子です。「編集工房ノア」の出版物と「ぼかん」のバックナンバーを販売します。古本も販売するかも、です。

りいぶる・とふん

「とふん」とは兎のフンのこと「折に触れ時に応じ、興来り情湧く毎に、ポツリポツリポロリポロリ飛び出したもの、即ち是(和田垣謙三『兎糞録』)。兎のフンのように量産は出来ずとも、情湧き興来りなばコツコツと本を作るプライベート・プレス、企画・編集・デザインを一如としたエディトリアル・デザインを心がけています。

出展者の ご紹介

LIXIL 出版

東京・京橋にあるLIXILギャラリーでは『建築とデザインとその周辺』をめくり、独自の視点でテーマを発掘する展覧会を開催しています。当日はその展覧会に併せて発行されるLIXIL BOOKLETシリーズを中心に販売いたします。建築、アート、サイエンスなど多様でマニアな世界をご覧ください。

港の人

鎌倉に誕生して18年目の出版社です。少数の発行で一般では手に入りにくい詩集を含め、文芸書、歌集、句集などを並べてお待ちしています。今年のおすすめは、ポーランドの詩人、チェスワフ・ミウオシュの初邦訳詩集『世界』。港の人の本づくりを手と目で味わっていただけたら嬉しいです。



MODERATO ROASTING COFFEE

鎌倉由比ガ浜通りのなかほどに位置するランドマーク鎌倉彫寸松堂、そのすぐ並びに当店MODERATO ROASTING COFFEEを2014年2月にOPENしました。自家焙煎コーヒー販売を中心にカフェでは季節ごと様々なスイーツ等を用意しております。常時6~8種の焙煎コーヒー豆販売とイートインカフェがご利用いただけます。また飲食店様用に焙煎豆卸販売を行っております。ぜひご活用ください。